

参加報告書

国際環境工学部情報システム工学科 1 年（参加時）

1. 留学先での取り組みについて

セルカーク大学の授業は、**Grammar, Writing, Reading, Communication** の四種類にわかれていて、総合的にどの授業も生徒自身で考え、自らコミュニケーションをとることが必要であり、英語に対する積極性を重視する授業だと感じました。**Grammar** の授業は、主に基礎的な文法を学ぶ場面が多く、簡単なゲームなどを通してクラスメートと英語でコミュニケーションを取りながら楽しく学ぶことが出来ました。**Writing** の授業では、先生が積極的に生徒に答えさせる場面を多くとられておりクラスメート全員で課題について考えていく活動がメインでした。また、授業の初めには週末のホームステイ先での活動などを文章にまとめ、それをほかの生徒と共有するという活動が行われました。**Reading** の授業では、英語の様々な記事を読みそれに対する問題を解いていくという活動が主であり、自分自身にとっては少しハイレベルな授業だと感じました。記事に含まれている英語の語彙や、文章を読むのに設けられている制限時間などのレベルが非常に高く感じたからです。**Communication** の授業では、森林伐採などの環境問題について、意見を出し合っていく活動が主でした。また、セミナーの授業が二回あり、一回目は熊に遭遇したときの対処法などについて、二回目は、カナダの歴史についてでした。キャッスルガーは熊が多く生存している地域であり、一回目のセミナーを通して、どう熊と共存していくかを深く知ることができた貴重な機会でした。同じクラスの生徒は、韓国、中国、メキシコ、ウクライナ、カナダなどの様々な国の方々の人で構成されており、中には子供がいる母親の生徒の方もかなりいて、幅広い年齢層でした。

2. 学校での経験について

私は本当にすてきな家族のホームステイ先で日々を過ごすことができ、心からお世話になったホームステイ先の方々に感謝しています。この家族のおかげで、一か月間で、様々な経験をさせてもらいました。日々の生活では、一緒に料理をしたり、スヌーカーというゲームをしたり、大きな機械をつくる作業をしたりする中で、現地の人の文化を理解するとともに、積極的に英語のコミュニケーションをとり、自分自身の英語力上昇につなげることが出来ました。また、週末に連れて行ってもらった旅行では自宅のあるキャッスルガーとはまた違った雰囲気、野球観戦やショッピングなど最高の思い出を作らせてもらいました。私はこの留学では、一か月間のみということもあり、とにかく多くの生徒に話しかけ、積極的にコミュニケーションをとることにチャレンジしました。その結果、他コースの友達もふくめ、インドや韓国、中国、メキシコ、フィリピンといった様々な国の友達ができ、放課後に一緒にジムでスポーツを楽しみました。それぞれの国で人気のスポーツを教えてもらい、スポーツを楽しむ中で、お互いの文化を理解しあった貴重な時間でした。週末には家族とのイベントだけでなく、自転車で近くの公園にでかけたり、隣町で開催されるフェスティバルに参加したり、カヤックを楽しんだりするなどして過ごしました。公園に出かけた時には小

さな博物館に行き、カナダの歴史を学びました。その公園は本当に景色がきれいで、自然の素晴らしさに圧倒されたのを今でも覚えています。隣町で開催されたフェスティバルは車のフェスティバルであり、1900年代の古く、非常にユニークな車が数百台展示されており、多くの人が集まっていました。

3. 留学生活を通して得た学び、自分自身の変化や気づきについて

私は心の底からこの留学に参加してよかったと思います。この留学を通して、得た学びは主に三点あります。一点目は、様々な文化の理解です。実際に多文化の家族の一員として日々生活を行うことで、インターネットや本などで調べるだけではわからない文化を多く発見できたと思います。二点目は、自信をもって発言することの大切さです。私は今回の留学を通して多くの出会いがありました。ホームステイ先の家族、そしてその親戚、学校での友達などです。そのような人たちと話す中で自分自身が最も素晴らしいと感じたのは、彼らが自分の意思をしっかり持っていて、それを自信を持って恥ずかしがらずに相手に伝える姿です。日本では相手の気持ちを気遣ったり、遠慮したりする場面が多く見られると思います。確かにそれは日本の文化であり、相手のことを考えるという意味では素敵なことだと思います。しかし、自分の意見をまっすぐに伝えコミュニケーションをとったり、授業中に積極的に自分の意見を、良い意味でまわりを気にせず発言したりする海外の人の姿に、私は感動し、尊敬します。それと同時に自分の気持ちに偽りなく発言することの、大切さ、気持ちよさを会話を通して実感できました。三点目の学びは、英語力です。一カ月という短い期間でしたが、やはり実際に友達や家族と会話するときに英語しかコミュニケーションをとる手段がないという状況になると、相手の話していることに真剣に耳を傾け、自分の持っている語彙力で相手に自分の考えを伝えようとします。このような行動は留学でしか体験できない貴重な経験だと思います。私は、総合的に見てリスニングの力が最も上達したと思います。しかし、一カ月で得られた最も大事なことはこれからの英語の勉強に対する意欲をどう変えていくかだと思います。もっと海外の人と深い話がしたい、もっと流暢に話すことで友達との仲をより深めたいという気持ちをこれからの英語学習に強く生かしたいと考えています。

4. 今回のプログラム体験を今後どう生かすか

今回の留学で本当に多くの体験をさせてもらい、いろいろなことを感じました。その中の印象に残った出来事の一つとして、自転車の事故を目の前でみたことです。友達と街中を歩いているときにたまたま自転車事故を目撃しました。その時少し混乱していたということもあり、私の英語力では、周りの人に助けを求めることしかできず自分自身ではなにもできませんでした。英語をもっと話すことができたなら強く感じました。ほかにも家族と話するときある程度の会話はできるようになっても、政治や経済などの難しい内容になると、理解が出来なくなってしまう場面がありました。そういった場面をふまえ、私は次に海外に行く機会までにもっと英語という言語を使いこなせるよう努力をしようと思ふようになりました。この気持ちをこれからの英語学習に生かしたいです。そして、将来私は日本だけでなく海外でも働きたいと考えております。そのためには、日常会話だけでなく専門的

な英語も習得していかなければなりません。そこにたどり着くまではかなりの努力が必要だ
と思いますが、一年生でこの留学体験をできたことを自信にして努力を惜しまず挑戦してい
きます。